

令和5年度 学校評価

～学校アンケート結果より～

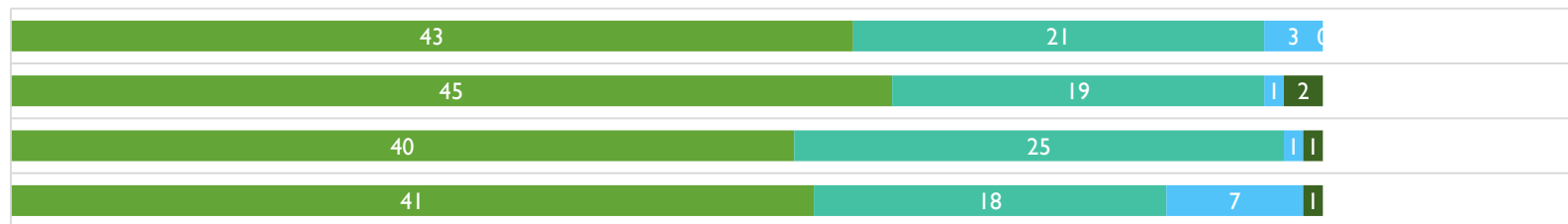
岐阜特別支援学校

小学部

■A ■B ■C ■D

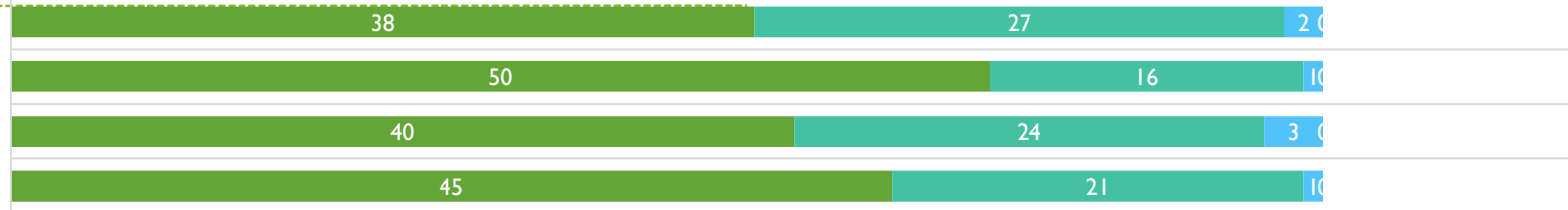
個に応じた学習

- 楽しい学校生活
- 個に応じた意図的な授業
- 一人一人に合った教材・教具
- 次年度への引継ぎ



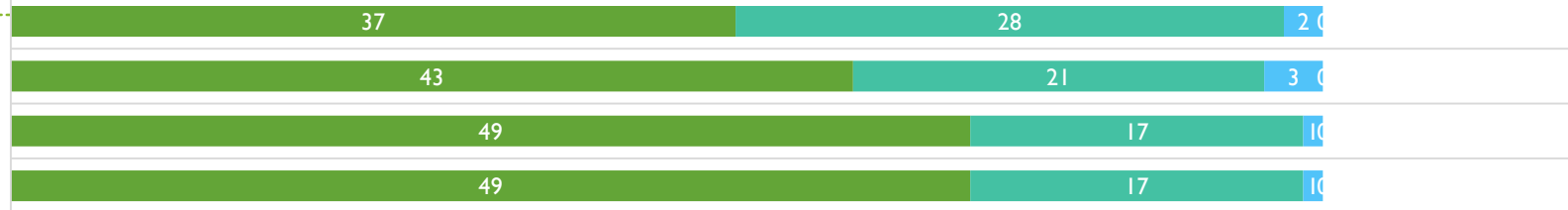
豊かな心

- 心身の健康管理(感染症対策含)と適切な対応
- 一人一人を大切にされた職員のかかわり方
- 体力向上に向けた活動の工夫
- 食の安全への配慮と適切な対応



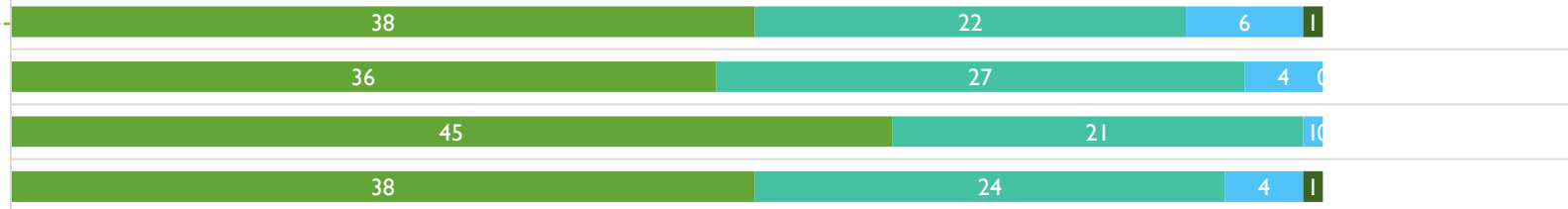
安心・安全な環境

- 感染症対策を含めた衛生管理
- 学校安全への配慮と緊急時の対応
- 校舎内の整理整頓と配慮された環境
- 通学の安全に関する配慮や具体的な指導



開かれた学校

- 様々な活動の様子の発信
- 家庭や医療機関等との連携による支援
- 学校行事等のもち方
- 福祉や進路等に関する情報提供



小学部学校評価考察

①高評価を得た内容

- ・ 1つの項目で88%、その他はすべて90%以上の評価を得ている。
- ・ 「職員の子ども一人一人を大切にしたかかわり」項目での評価が高い。個の実態把握を基に、保護者との合意形成を図り、個に応じた日常生活や授業での手立てを考え、支援につながったと考えられる。
- ・ 「食や校内環境の安全への配慮などの対応に関わる」項目での評価が高く、今後も子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるよう継続したい。

小学部学校評価考察

②課題とすべき内容

- ・「次年度への引継ぎ」への評価が低い。年度当初に、前年度の子どもの様子、具体的な支援についての引継を確実にを行い、学級、学年で情報を共有し、子どもや保護者が安心して新学期をスタートすることができるようにする。
- ・「様々な活動の様子の発信」への評価が低い。保護者の方が自由参観したり、保護者の方へ子どもの様子の画像や動画等で伝えるたりするなど、学校での様子を伝えることができるようにする。

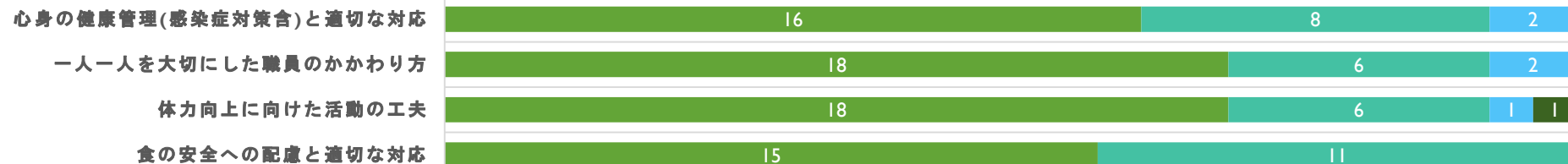
中学部

■A ■B ■C ■D

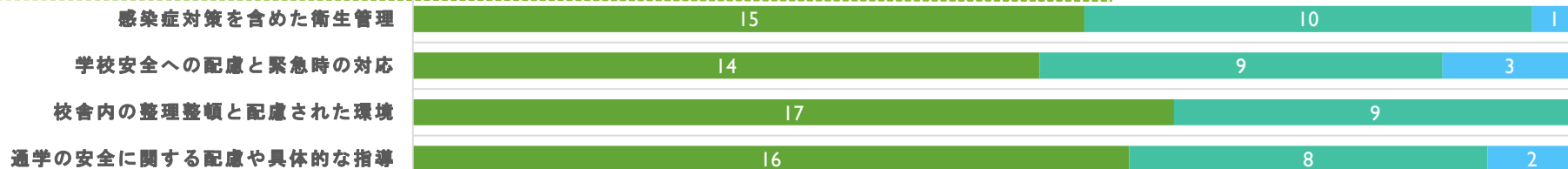
個に応じた学習



豊かな心 健康な体



安心・安全な環境



開かれた学校



中学部学校評価の考察

①高評価を得た内容

- ・昨年度に引き続き「食の安全への配慮と適切な対応」の項目において今年度も高評価を得ている。思春期を迎え食欲旺盛な生徒が多いが、必ず手洗いを実施し、よく味わって食べるように担任が細やかに声をかける支援を継続していく。
- ・その他、一つの項目を除いて、85%以上の評価を得ている。コロナ禍には、学級単独での活動しかできななかったが、現在では学年授業、縦割りでの仲間の時間、学部そろっての儀式行事などが再開し、活動に幅が出てきたが、一人一人が安心して学校生活を送ることができるように、そして、他者とのコミュニケーションの力が高まる活動を意識的に取り入れていく。

中学部学校評価の考察

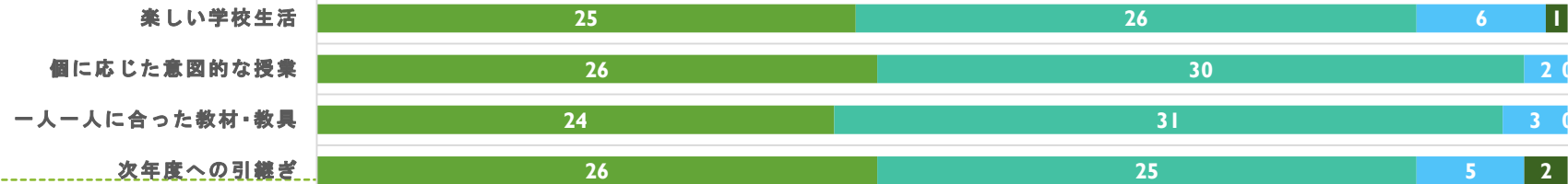
②課題とすべき内容

- ・ 「様々な活動の様子が発信」への評価が低い。学校ホームページや学校通信、学年通信の内容を工夫し、学校生活の様子を伝えることができるようにする。保護者の要望として、学校の様子や生徒の活動写真、動画等の配信を望む声も上がっているが、肖像権の管理徹底を考えると、安易に実施することが困難なので、非常に苦しい状況である。自由参観や学年行事の公開等ができないか、検討をしていく。

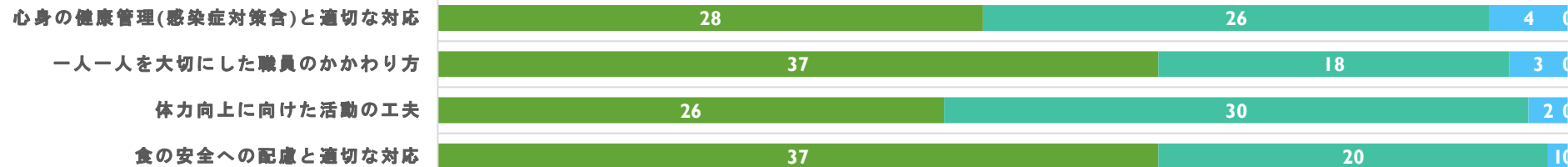
高等部

■ A ■ B ■ C ■ D

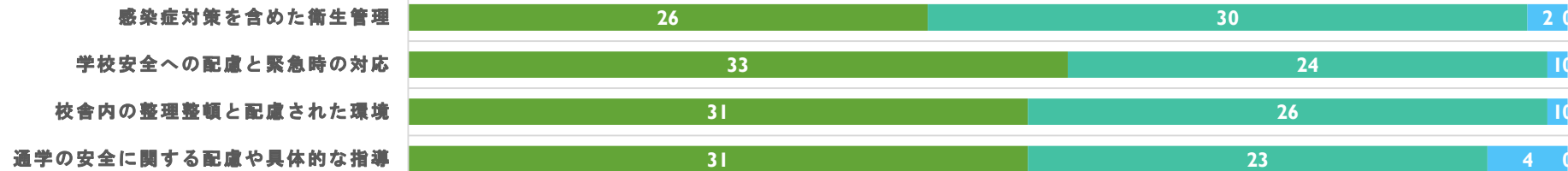
個に応じた学習



豊かな心



安心・安全な環境



開かれた学校



高等部学校評価の考察

①高評価を得た内容

- ・ 昨年度より大きく評価が上がっているのは、「一人一人に合った教材・教具」「体力向上に向けた活動の工夫」「家庭や医療機関等との連携による支援」「福祉や進路等に関する情報提供」の4項目と、学校安全への配慮や対応（食への安全配慮・校内環境づくり・緊急時の対応、感染症対策を含めた衛生管理等）の項目である。
- ・ 学習や毎朝行う体力づくりでの指導支援について、生徒に合わせた活動内容や教具を学年で相談し、年間を通して継続指導できていることが効果的な活動につながっていると考えられる。
- ・ 「福祉や進路等に関する情報提供」では、今年度、福祉や進路に関する研修や説明会の回数を増やしたり、開催方法を工夫したりしたことが、評価につながったと考えられる。毎回、多くの保護者の参加があり、関心の高さがうかがわれる。今後も情報提供を継続し、生徒や保護者に就労への道筋が見える支援ができるようにしていく。

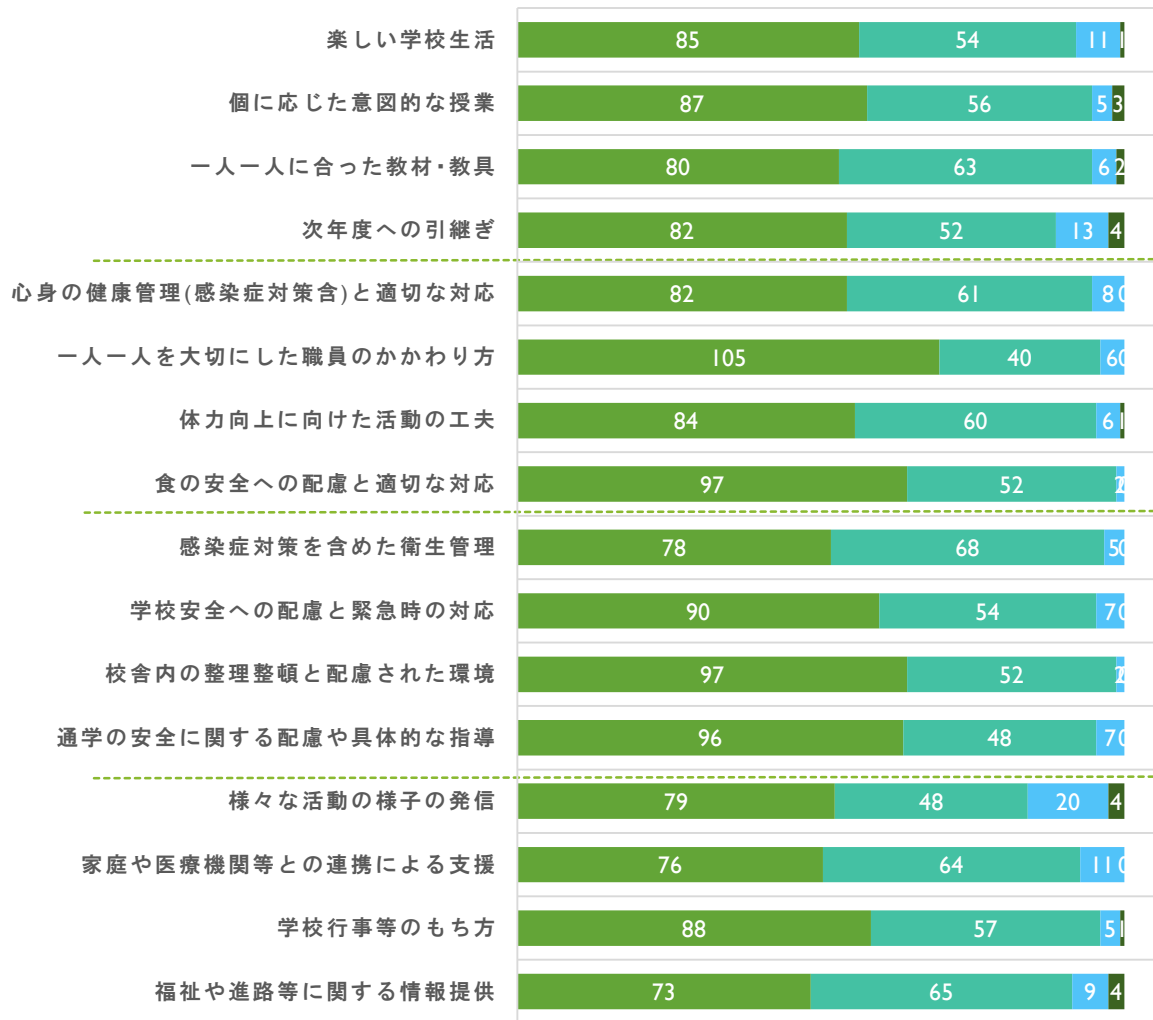
高等部学校評価の考察

②課題とすべき内容

- ・昨年度より評価が下がっているのは、「様々な活動の様子の発信」「次年度への引継ぎ」の2項目である。
- ・「様々な活動の様子の発信」では、保護者の参観、学校ホームページや学年通信の内容を工夫し、学校生活の様子を伝えることができるようにする。
- ・「次年度への引継ぎ」では、前年度末に、生徒の様子、具体的な支援など引き継ぐ内容を明確にし、年度当初に、学年、学部で情報共有を確実に行う。また、年間を通して行っている生徒指導交流を継続し、学部全体で一人一人の生徒を支援していくことを大事にしていく。

保護者

■ A ■ B ■ C ■ D



個に応じた学習

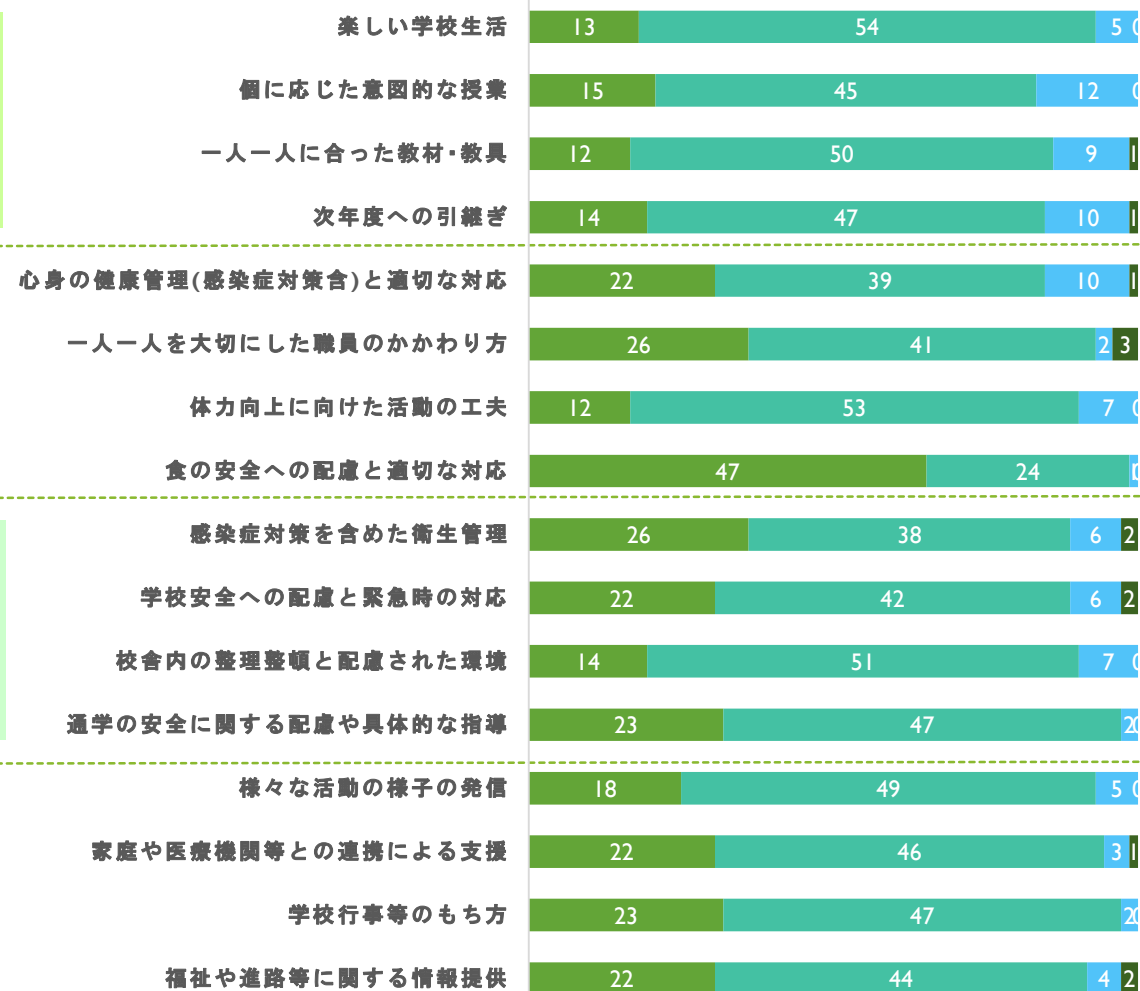
豊かな健康な体

安心・安全な環境

開かれた学校

教職員

■ A ■ B ■ C ■ D



評価の考察

- ・ 全体的に高評価を得ている。
- ・ 課題としてあげると次年度の引継ぎと情報発信の項目にD評価がある。
- ・ 一人一人の支援方法について保護者と一緒に確認し、確実に引き継ぎをしながら、継続した支援ができるよう取り組んでいきたいと考えている。
- ・ また、コロナも5類となり、授業参観や行事の参加の機会も少しずつ増えてきているが、保護者のニーズに沿ってオンラインでの配信も継続しながら、情報発信を行っていく。